

2024. 2. 5

北米最大の展示会「World Tea Expo 2024」に地域企業 5 社と合同出展 ～お茶の都「静岡」の魅力を海外に発信！～

静岡銀行（頭取 八木 稔）では、第 1 次中期経営計画「Xover～新時代を拓く」の基本戦略として推進している「地域共創戦略」の一環として、地域の主要産業の 1 つである「茶業」のさらなる振興支援をめざし、北米最大のお茶の展示会「World Tea Expo 2024」に地域企業、静岡県とともに合同出展しますので、その概要をご案内します。

1. 「World Tea Expo 2024」の概要（Bar and Restaurant Expo と併設開催）

- (1) 開催日／3 月 18 日 ～ 20 日
- (2) 会 場／米国 ラスベガス・コンベンションセンター(南ホール)
- (3) 来場予定者数／13 千人
- (4) 出展する地域企業
 - 株式会社おさだ製茶（周智郡森町 <https://osadateajapan.com/en-jp>）
 - 株式会社小柳津清一商店（静岡市駿河区 <http://www.oyaizu.co.jp/for-english>）
 - 日研フード株式会社（袋井市 <https://www.nikkenfoods.co.jp/en/>）
 - 丸善製茶株式会社（静岡市駿河区 https://www.maruzen-tea.jp/en/en_index.html）
 - 株式会社丸松製茶場（菊川市 <http://www.marumatsu-tea.co.jp/en/>）

2. 出展の目的など

- 静岡県の主要農産物であるリーフ茶は、国内需要の低迷にともない取引価格が下落し、県内の茶園面積も減少傾向にあります。
- 一方、海外では、健康志向の高まりや抹茶人気などを背景にお茶の輸出が増加しており、なかでも米国は、2022 年度のお茶の輸出金額（粉末茶を含む）の 48%を占めています。
- こうしたなか、米国における需要のさらなる創出ならびに生産農家を含む茶業関係者の販路拡大をめざし、地域企業等と合同で「World Tea Expo 2024」に出展することとしました。
- また、本展示会では、静岡銀行と静岡茶輸出拡大協議会（事務局：静岡県お茶振興課）の共同ブースを出展し、静岡県の豊かな観光資源とともに茶産業の状況やお茶の歴史を紹介するなど、静岡県への来訪客増加につなげる PR 活動を行います。
あわせて、共同ブース内で県内各地のお茶を呈茶して産地の特徴を説明したり、高級ボトル茶の嗜好性調査を実施するなど、高品質な静岡茶の認知度向上と消費の拡大をめざして取り組みます。
- 静岡銀行では、今後も地域企業とともに、多様化する消費者の購買スタイルの変化を見据えながら、「静岡茶」の新しい需要創出に向けて積極的に支援してまいります。